

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4852	担当課等	学校教育課									
事務事業名	教育支援教室推進事業											
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	4	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P118 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑦ 不登校などの問題解決				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小中学校において、心因的な理由で不登校となる児童生徒は年々増加傾向にある。不登校対策として平成4年度に学校校外指導室「適応指導教室」を開設した。令和2年度から名称を「教育支援教室」と改めた。								
対象	心因的理由での不登校児童生徒								
内容	心因的理由での不登校児童生徒の学習指導 不登校児童生徒の保護者に対する助言 不登校児童生徒の学校復帰への生活指導 小中学校医との連携								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	260,000	447,230	1,160,000	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等	854,625	535,092	402,177	
	人件費合計	854,625	535,092	402,177	
総事業費	1,114,625	982,322	1,562,177		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	1,114,625	982,322	1,562,177	
財源合計	1,114,625	982,322	1,562,177		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
通級児童生徒数		人	14	11	10
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
原籍校へ復帰した児童生徒数		人	2	5	5

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原町立小中学校に通う児童生徒対象のため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 基本的な生活習慣を身につけさせ、集団生活に適用できるように段階的に指導し、学校へ復帰させる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 不登校だった児童生徒が教育支援教室に通級するようになり、教育支援教室の小さな集団生活をする事により、原籍学校へ復帰できるようになる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 教室の案内パンフレットを作成し、小中学校や町内施設に配架し、周知をしている。
令和2年度までの自己評価または改善点	不登校の児童生徒にとって、居場所となり得る教育支援教室の存在は必須のものと考えている。園芸活動等の様々な活動の中で、集団生活への適応を指導している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	保護者、学校、関係諸機関との連携が必要な為、委託等は不可能と思われる。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	原則として、小学校4年生以上の児童と中学校の生徒が対象でしたが、小学校低学年児童やひきこもりの児童生徒についても学校と連携して随時家庭訪問を行っている。	
令和4年度以降の方向性	引き続き、不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるため、関係機関との連携を図りつつ指導していく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるために指導し、保護者へ助言を行う。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4862	担当課等	学校教育課								
事務事業名	小中学校児童生徒作品展開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	① 特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町立小・中学校の児童生徒の作品を町立図書館に展示し、小・中学校の学習の成果の発表と鑑賞の機会を提供し、この機会に児童生徒の多彩な学習の成果を住民に知ってもらい、開かれた学校運営を目指す。								
対象	町立小・中学校の児童・生徒								
内容	湯河原町立小・中学校の児童生徒の作品を11月下旬～12月上旬に町立図書館に展示し、小・中学生の学習の成果の発表と鑑賞の機会を提供する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)	
コスト	事業費	90,000	90,000	90,000	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	90,000	90,000	90,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	90,000	90,000	90,000	
	財源合計	90,000	90,000	90,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
委託金額		円	90,000	90,000	90,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 小中学生の学習成果の発表と鑑賞の機会を提供し、成果を住民に知ってもらい、開かれた学校運営を目指す。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 児童・生徒の作品を広く発表する機会があることで児童・生徒の学習意欲の向上を図ることができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 作品展として町民等多くの皆さんに児童・生徒の学習成果を知ってもらえる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 児童・生徒全員の作品の中から優秀作品を選定している。
令和2年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に委託
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和4年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	児童・生徒の作品を広く発表する機会があることで児童・生徒の学習意欲の向上が期待できる。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4866	担当課等	学校教育課								
事務事業名	教職員等研修事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	⑨ 教育研究・教職員研修の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	教職員の資質の向上を図るため研修事業を実施する。								
対象	全教職員								
内容	湯河原町幼保小中連携研修会及び湯河原町人権教育研修会として、人権教育を主とした研修会を開催。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	43,920	0	72,000	
コスト 人件費	常勤職員	742,400	0		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	742,400	0		
	総事業費	786,320	0		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	786,320	0		
	財源合計	786,320	0		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
研修会実施回数		回	2	0	2
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 公立幼・小・中学校教職員の資質向上のために必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 子どもたちを取り巻く社会は日々多様化・複雑化しており教職員に対し広い見識が求められる中で毎年研修会を実施し、教職員の資質向上を図った。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 効果の測定は難しいが教職員の学習機会を確保することで見識の底上げが期待できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 2回のうち1回は保育園との連携として保育士まで参加範囲を拡大し実施している。
令和2年度までの自己評価または改善点	新型コロナウイルス感染拡大予防の観点や、緊急事態宣言発令等の影響により、夏季休業期間中も授業を実施していたことから、令和2年度は研修を実施できませんでした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町教育委員会が主導で実施する教職員に対する講演会
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和3年度においても、夏季休業期間中に新型コロナウイルス感染症が流行していたことから、実施を見送っています。代替えとなる研修の検討が必要と考えます。	
令和4年度以降の方向性	令和元年度までと同様に、継続し、実施する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	教職員の資質向上のために継続実施する必要がある。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4878	担当課等	学校教育課								
事務事業名	人権問題研究会等参加事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P118 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	⑤ 人権教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	○								
目的	人権に対する知識と認識を深める。								
対象	教育委員会事務局職員								
内容	同和三団体の研究会への参加や雑誌等の購入								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)			
	事業費	102,412	79,960	128,000		
コスト 人件費	常勤職員	185,586	58,966	57,556		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	185,586	58,966	57,556		
	総事業費	287,998	138,926	185,556		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	287,998	138,926	185,556		
	財源合計	287,998	138,926	185,556		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 人権団体主催の研究会等に参加することで人権に関する知見を深めることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 必要に応じて学校の教職員に情報提供を行うことで学校教育の充実に寄与することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 人権団体主催の研究会等に参加することで人権団体に対し町教育委員会の姿勢を示すことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 研究会等の参加内容を学校現場にフィードバックできない部分がある。
令和2年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和4年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	人権団体主催の研究会等に参加することで人権に関する知見を深めることができる。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4915	担当課等	学校教育課								
事務事業名	校外体験学習推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	① 特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	郷土の特色ある地場産業、自然を実際に体験することで、湯河原町民の一員として、自分の住む町をより理解し、郷土愛が育まれる。								
対象	町内小学校児童								
内容	次の体験教室を開催する。 ・お茶摘み体験(児童が茶摘みを体験し、そのお茶を給食等で試飲することにより、農業に対する理解を深める。) ・温泉入浴体験教室(こごめの湯で温泉の入り方とマナーを学ぶ。) ・稚鮎の放流体験(郷土の自然や生き物へのいっくしみを深める。)								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	529,314	408,392	398,000	
コスト 人件費	常勤職員	649,551			
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	649,551	0	0	
総事業費	1,178,865	408,392	398,000		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	1,178,865	408,392	398,000	
財源合計	1,178,865	408,392	398,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 地場産業や自然を体験することで郷土を学ぶことができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内の関係団体から協力をいただき実施している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域の産業など身をもって体験することで地域を考える機会を作りだし、教育の充実につながっていくと考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 学習状況に合わせた特定の学年で毎年実施しており、多くの児童が参加している。
令和2年度までの自己評価または改善点	緊急事態宣言による学校臨時休業等により、令和2年度の校外体験学習については、中止といたしました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	農事組合法人南郷協同組合に委託
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	児童の送迎について、平成28年度からバス借上料を予算化し、授業の安全性の向上を図った。 令和3年度については、新型コロナウイルスの感染状況等を考慮し、お茶摘み体験のみの実施を予定していましたが、雨天により中止しました。	
令和4年度以降の方向性	令和2年度及び3年度では、全ての体験学習が未実施となりましたが、令和4年度では全ての体験学習が実施できるよう、各関係団体と調整を図ります。 また、参加できなくなってしまった対象学年にも、体験学習の機会が提供できるよう検討する必要があると考えます。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	郷土の特色ある地場産業、自然を実地に体験することで、自分の住む町をより理解し、郷土愛を育む教育を推進する。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4943	担当課等	学校教育課							
事務事業名	子どもフォーラム開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成 23 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	① 特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	「笑顔あふれる最高の楽校(がっこう)」(平成23年度湯河原町子どもフォーラム宣言)の実現と、児童・生徒が主体的に活動できる場を設定することにより、よりよい「小・小連携」「小・中接続」の実現を目指す。								
対象	町内各小中学校の児童・生徒								
内容	児童・生徒が主体的、協働的に活動できる場を、年間4回設定することで、自分たちの手でよりよい学校や町を創る意識を高め、行動する児童・生徒を育成する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	192,114	68,906	283,000	
コスト 人件費	常勤職員	1,082,585	701,200		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,082,585	701,200		
総事業費	1,274,699	785,406	984,200		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	1,274,699	785,406	984,200	
財源合計	1,274,699	785,406	984,200		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
子どもフォーラム開催数	活動できる場の設定	回	6	2	4
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
参加者(児童、生徒、一般)		人	105	9	50

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 児童・生徒が自分たちの学校や町を大切に思い、よりよくしていこうとする意識や行動に繋げるために、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 本町出身の方にコーディネートしていただくことで、町を愛するという共通項を持って、事業を行うことができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 昨年度も参加した児童・生徒が、今年度も参加するという循環が生まれているが、個々の生活スタイルの変化により、参加ができない場合もある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 児童・生徒たちの手で、「笑顔あふれる最高の楽校(がっこう)」を実現することで、町立学校に通う全ての児童・生徒に還元することができる。

令和2年度までの自己評価または改善点	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、実施時期が遅くなってしまう、1回目の開催が11月となった。1月には2度目の緊急事態宣言の発令により、中止した。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	参加しやすい状況を設定するため、児童・生徒が主体的に参加、活動できるよう、情報発信を工夫するとともに、子どもフォーラムの目的から逸脱しない範囲での行事を企画している。	
令和4年度以降の方向性	地域の方にも、積極的に参加していただけるような事業に発展させる。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	主体的、協働的に行動し、考えることができる児童・生徒を育成するために有効な事業と考えている。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4956	担当課等	学校教育課								
事務事業名	学びづくり推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117.119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	① ⑨ ・特色ある教育の推進 ・教育研究・教職員研修の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	児童・生徒及び地域の実情や課題を踏まえ、基本的な知識及び技能を習得させ、課題を解決するための思考力・判断力・表現力等をはぐぐみ、主体的に学習に取り組む姿勢を養うことで、児童・生徒の学力向上を図る。 また、特色ある湯河原の学校教育の推進、教育における「現代的課題」への取組、教育研究組織の活性化、教職員の意識改革と意欲向上を図る。								
対象	町内小中学校の児童・生徒 全教職員								
内容	「かながわの学びづくり推進事業」は終了したが、町独自で事業を継続し、各学校での創意工夫を生かした、教職員の授業力向上及び授業改善を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	475,570	290,000	405,000	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
総事業費	475,570	290,000	405,000		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	475,570	290,000	405,000	
財源合計	475,570	290,000	405,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
講演会		回	12	9	12
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町の児童・生徒の実態、町立学校の状況、それらを取り巻く町の状況を反映した取組みを実現するためには、町の事業として実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 校内研究会に、外部講師を複数回招聘することで、理論と実践がつながり、質の高い研究会を実施でき、授業力向上、授業改善が図れる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 継続して同じ講師を招聘することができ、町立学校教職員の授業力向上、実践的指導力の向上に多大な効果を得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町立学校に通う全ての児童・生徒に対して、質の高い授業を提供することが、公教育の目指すべき方向である。

令和2年度までの自己評価または改善点	福浦幼稚園にも、外部講師を招聘することで、公教育における幼小中の「学び」の連続性を意識した取組みを行った。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に対して、教育課題研究を委託している。
令和3年度の見直し及び改善 (実績または予定)	町立学校同士で授業を見学し合うだけでなく、町外のよりよい実践を吸収し、本町の公教育に還元するため、教職員が先進校のみならず、近隣市町村の校内研究会等にも積極的に参加できるように働きかける。	
令和4年度以降の方向性	町立保育園と、「学び」の部分を共有し、義務教育を終えるまでに、町としてどのような生徒を育てたいかを明確にした上で、幼保小中の情報連携・行動連携を図っていく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	教職員の授業力向上、及び授業改善を図るため、継続的な実施が必要である。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	5017	担当課等	学校教育課								
事務事業名	副読本「ゆがわら」作製事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	② ③ ・小学校教育の充実 ・中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	郷土湯河原の歴史や文化等を学習する。								
対象	小中学校の児童・生徒								
内容	郷土湯河原の歴史や文化等を学習するための教材「副読本」として作成する。 令和2年度は小学校用を、令和3年度は中学校用を作成する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	0	712,690	228,000	
コスト 人件費	常勤職員	0	579,560		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	579,560		
総事業費	0	1,302,350	807,560		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	1,302,350	807,560	
財源合計	0	1,302,350	807,560		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 郷土の歴史や文化等を学習するための教材の作成
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 社会科の授業において使用している。郷土を理解するうえで類似のものはない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 郷土の歴史や文化の理解を深め、尊重する態度を身に付けていくことができる
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町立小中学校の児童生徒全員に配布していることから受益の機会は均等に近いと考えている。

令和2年度までの自己評価または改善点	3年に1度副読本を改定している。令和2年度は小学生用を、令和3年度は中学生用を改訂します。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 湯河原町教育研究会に内容の調整を依頼
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	内容の精査を図りながらより良い副読本を作成する
令和4年度以降の方向性	継続し、実施する

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	児童生徒が郷土を理解し、歴史や文化等の学習をするための補助教材として内容の充実を図る
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4000	担当課等	学校教育課								
事務事業名	ICT教育推進事業										
予算科目コード	会計	001	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	国のGIGAスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現にむけ、推進するもの。								
対象	町内各小中学校の児童・生徒及び教職員								
内容	各小中学校において校内無線LANを整備し、児童・生徒及び教職員に一人1台のパソコン端末を整備しています。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費		47,215,601	49,792,000		
	人件費					
	常勤職員		2,149,500	2,103,600		
	会計年度任用職員等		541,260	541,260		
	人件費合計	0	2,690,760	2,644,860		
	総事業費	0	49,906,361	52,436,860		
財源内訳	国庫支出金		19,548,000	1,500,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	30,358,361	50,936,860		
	財源合計	0	49,906,361	52,436,860		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒・児童及び教職員の教育用のものであり、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 GIGAスクール構想の実現となる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 教育用パソコン端末の整備や環境整備によりICT教育の推進をすることができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 現段階では実際に運用をしていないことから、運用法等の検討が必要である。

令和2年度までの自己評価または改善点	国庫補助制度を利用して、環境整備を迅速に行うことができた。
--------------------	-------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	運用等の検討も必要となることから、行政として行う必要がある。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	教育委員会や学校のみだけでは適切な運用方法を研究することが難しいので、GIGAスクールサポーターを委託し、助言等をいただいている。	
令和4年度以降の方向性	ハード面については、今後のランニングコストを再度精査する必要があると考えます。ソフト面については、町内小中学校の教職員自らが協力し、研究する必要がある。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	限られた予算の中で最善な運用方法を見出す必要がある。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	4700	担当課等	学校教育課								
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策										
予算科目コード	会計	001	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の推進	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各小・中学校及び幼稚園にて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校(園)生活を推進するもの。								
対象	町内各小中学校、幼稚園の児童・生徒及び教職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備するもの。 中止や延期となった小中学校修学旅行の保護者負担を一部補助するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費		11,012,237	6,275,000		
	人件費	常勤職員		5,732,000	2,804,800	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	5,732,000	2,804,800	
	総事業費	0	16,744,237	9,079,800		
財源内訳	国庫支出金		10,678,381	6,275,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源		208,906			
	一般財源	0	5,856,950	2,804,800		
	財源合計	0	16,744,237	9,079,800		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒・児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童・生徒が感染症対策等を習慣化することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。

令和2年度までの自己評価または改善点	緊急事態宣言による学校臨時休業の再開後、国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、サーキュレーター等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和3年度においても、国庫補助制度を活用し、保健衛生用品や備品の整備をすることができた。また、小学校の修学旅行に看護師を帯同させることで、緊急時の対応ができ、安全性の向上を図ります。	
令和4年度以降の方向性	今後とも継続して、感染症対策を講じた、安全・安心な学校生活の推進を図ります。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要がある。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	4986	担当課等	学校教育課							
事務事業名	人権教育等促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P118 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑤ 人権教育の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る問題であるという前提のもとに、いじめを生まない土壌づくりを図るものです。								
対象	町内小中学校の児童生徒及び教職員								
内容	湯河原町いじめに関する調査委員会からの答申の中で示された提言を受け、小学5・6年生及び中学生を対象とし、「人権川柳」を募集した。 また、小学5・6年生及び中学生において、社会生活技能訓練(アート・コミュニケーション・トレーニング)を実施している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	1,572,589	1,755,470	1,706,000		
	人件費	309,310	294,830	289,780		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	309,310	294,830	289,780		
	総事業費	1,881,899	2,050,300	1,995,780		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,881,899	2,050,300	1,995,780		
財源合計	1,881,899	2,050,300	1,995,780			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
人権川柳応募者数			点	601	476	550
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 平成26年4月に起きた悲しい事件を風化させないようするため、町が積極的に事業に取り組む必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 最優秀作品となった人権川柳については、各学校や町役場にて立看板として掲示しており、町民の皆さまに対しても啓発している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 社会への対応が困難とならないよう、「社会で他社との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識や技術」を体系的に習得することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 アート・コミュニケーション・トレーニングの対象を小学5・6年生に拡大したが、今後は、3・4年生への拡大も検討する。

令和2年度までの自己評価または改善点	小中学校という多感な時期に、コミュニケーション能力や対応能力の育成を行うことは有効であると考えます。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	アート・コミュニケーション・トレーニングをNPO法人に委託済み。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	今後とも継続して、アート・コミュニケーション・トレーニングを実施し、コミュニケーション能力や対応能力の育成を図る。	
令和4年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町独自の取組みとして今後とも人権教育を推進し、いじめの未然防止、早期発見及び解消を図る。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	4986	担当課等	学校教育課							
事務事業名	校務支援システム改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各学校にて導入している校務支援システムにおける、通知表の様式を改めるもの。								
対象	町内小中学校の教職員								
内容	校務支援システム内の通知表の様式を、足柄下郡3町で統一する必要があるもので、システム改修するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	242,000	
	人件費			28,978	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	28,978	
総事業費	0	0	270,978		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	270,978	
財源合計	0	0	270,978		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 校務システムについて、町で賃貸借やシステム使用をしているため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 足柄下郡3町で通知表の様式を統一することで、生徒の転出等の対応時にも円滑なものとなる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 通知表の様式を改修し、教職員が行う事務の改善・向上が図られた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 足柄下郡3町にて同時期に改修することができた。

令和2年度までの自己評価または改善点	特になし。
--------------------	-------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。
令和4年度以降の方向性	今後も指導要録等の変更があった場合に、システム改修等の必要性があった場合には、足柄下郡3町で連携し、対応する

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	システム改修が完了しました。
------	----	----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	8142	担当課等	学校教育課								
事務事業名	学校施設整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	要配慮児童生徒でも安全・安心な学校生活を送るため、学校施設を改修等行うもの。								
対象	町内小中学校の児童生徒及び教職員								
内容	湯河原中学校において、車イスを使用する生徒がいることから、車イスのまま階段の昇降ができるよう、階段昇降機をレンタルするもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	308,000	
	人件費	常勤職員		289,780	
		会計年度任用職員等			
		人件費合計	0	0	289,780
	総事業費	0	0	597,780	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	597,780	
財源合計	0	0	597,780		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 町立小学校の維持管理や改修については、学校と連携し実施する必要があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 各学校に修繕等の必要箇所が多くあるので、計画的に改修する必要がある。

令和2年度までの自己評価または改善点	学校が希望する修繕必要箇所を精査し、計画的に改修をしなければいけない。
--------------------	-------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	車イスを利用する等、要配慮児童・生徒については、学校と連携し情報収集をしなければいけない。
令和4年度以降の方向性	今後も継続して、児童・生徒の安全・安心の向上を図るため、計画的な改修等を行います。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	計画的に施設改修等行います。
------	----------	----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	10100	担当課等	学校教育課								
事務事業名	理科教育設備整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	理科・算数及び数学に関する教育(理科教育)を実施するための設備整備を行い、教育振興を図るもの。								
対象	町内小中学校の児童・生徒及び教職員								
内容	学校からの要望を聴取し、観察用顕微鏡や実験・観察器具等を購入し、理科教育の充実を図りました。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)			
コスト	事業費	896,400	0	1,995,653		
	人件費	常勤職員	309,310		289,780	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	309,310	0	289,780	
	総事業費	1,205,710	0	2,285,433		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,205,710	0	2,285,433		
財源合計	1,205,710	0	2,285,433			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 各学校からの要望に沿って、設備整備をするので、町が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 設備整備の充実をすることで、理科教育等の振興を図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 教職員の指導方法をより充実させることで、児童・生徒の学習意欲等の向上を図ります。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 各学校からの要望を伺い、精査をしながら学校に整備しています。

令和2年度までの自己評価または改善点	国庫補助制度を活用し、学校からの要望を計画的に整備することができた。
--------------------	------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 学校からの要望を集約する必要があるので、町が行います。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	学校からの全ての要望の理科備品を、整備することができた。
令和4年度以降の方向性	今後も継続して、国庫補助制度を活用し、計画的に整備する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	計画的な整備を行い、理科教育等の振興を図る。
------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--